



令和5年5月15日

各位

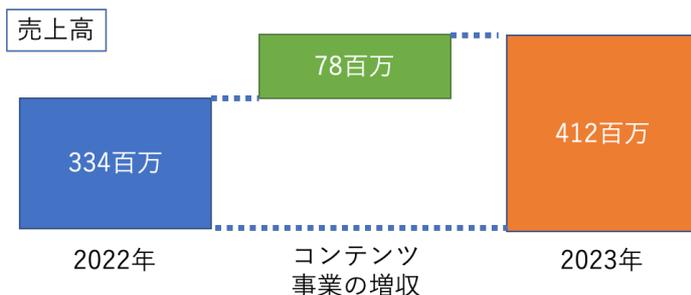
会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
 (コード2388 東証グロース市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03-6225-2161)

当社第2四半期連結経営成績の内容に関するご説明

当社は2023年5月15日、第2四半期の決算短信を発表しました。2022年第2四半期との比較で主な増減とその要因について、株主様等からのお問い合わせが多くありましたので、こちらでご説明させていただきます。円高による為替差損が大きく出たものの、コンテンツ事業並びにリゾート事業が好調に推移して利益が増加いたしました。

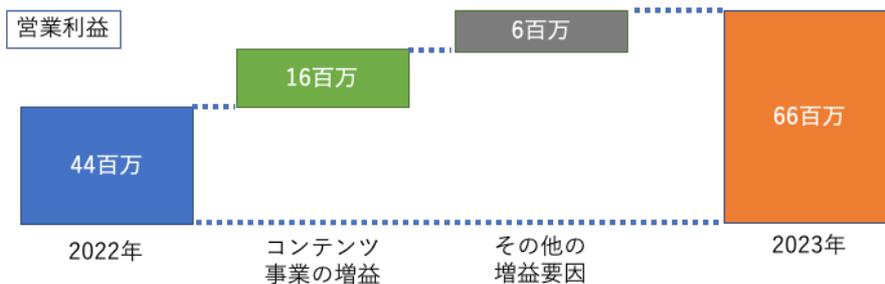
① (売上高) : 4億12百万円 (+78百万円 +23.4%)

売上高の増加は主に**コンテンツ事業の売上増**によるものとなります。海外事業を含む新規事業開発の取り組みや、ゲーム企画開発など国内での営業拡大に向けた取り組みを中長期的にすすめた施策が結実しております。



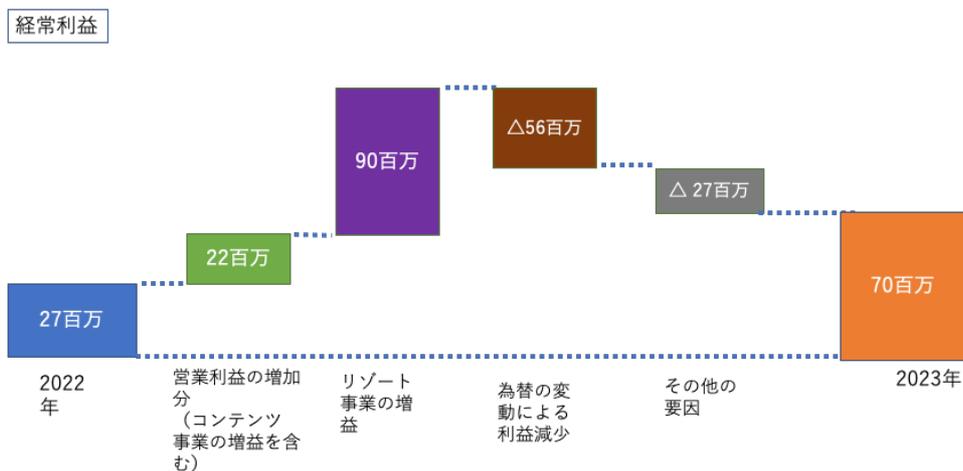
② (営業利益) : 66百万円 (+22百万円 +50.4%)

主に**コンテンツ事業の利益拡大** (+16百万円) によるものです。事業経費の配分の管理が向上し収益性が改善していることに加えロイヤリティ収入なども好調に推移しました。



③ (経常利益) : 70 百万円 (+43 百万円 +165.2%)

上記コンテンツ事業の利益拡大に加え、コロナ禍を経て営業再開したゼボラリゾートを運営するリゾート事業が好調に収益を計上したことにより経常利益は拡大しました。昨年よりも円高になったため、為替の変動による差損が発生し前年比では大きく利益を下押ししましたが、それらを補って増益となっております。



④ (親会社株主に帰属する四半期純利益) : 43 百万円 (黒字転換)

上記の要因をもとに四半期純利益においても黒字転換を果たしております。

以上、ご確認いただけますようお願いいたします。

以上